

令和7年度 八代市子ども・子育て会議 会議録(要旨)

【日 時】 令和8年2月12日(木) 15時00分 ~16時00分
【場 所】 八代市役所 3階 301会議室
【出席者】 (会長) 弓削 隆紀委員
(副会長) 寺田 公子委員
鬼塚 桂子委員 児玉 志保委員 山本 由紀委員 米原 浩司委員
田邊 久美委員 泉 直子委員 内木 剛委員 青山 ひとみ委員
瀬高 杏妃委員 澤田 莉奈委員 森田 正委員

【欠席者】 松本 展武委員

【傍聴者】 0名

【報告内容】

- (1)人口及び児童数概要について
- (2)八代市こども計画の概要について
- (3)「八代市こども計画」令和8年度の取組について

【議事内容】

- (1)保育所等の利用定員の見直し(案)について
- (2)乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)について

報告(1)人口及び児童数概要について

【資料1】

報告(2)八代市こども計画の概要について

【別冊資料】

報告(3)「八代市こども計画」令和8年度の取組について

【資料2】

・資料1～2に沿って事務局から説明。

議事(1)保育所等の利用定員の見直し(案)について

【資料3】

議事(2)乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)について

【資料4】

・資料3～4に沿って事務局から説明。

報告・議事において委員からの意見は以下のとおり

《乳児等通園支援制度(こども誰でも通園制度)について》

・校区ごとに1施設ではないのはなぜなのか。

また、要望したところすべて認可してもいいのではないか。

●回答

八代市を10の区域に分けて1施設ずつ選定しようと考えていたが、希望が上がらなかった校区もある。1つの区域から2施設以上手が上がったところに関しては、選定をさせていただいたという経緯がある。

また対象児童の人数が限られているため、施設数が多すぎると利用児童が分散してしまい、施設の運営に十分な収入が見込めない恐れがあることも考え10施設で実施することとした。

その他

・委員からいただいた意見

(A 委員)

(人口及び児童数の推移データについて)

・少子化に関して、国や県と比較したものを提示してほしい。八代市の数字だけでは少子化がどれほど危機的状況なのかわからない。

子育て支援については、日中の支援に重点が置かれがちだが、夜間や緊急時の支援も充実させてほしい。

(B 委員)

(教育分野における日本語指導員の増員について)

・外国人のこどもだけではなく、日本語が分からない両親にも支援が必要。保護者に対して緊急の連絡を伝えることが難しいという現場の課題もある。日本語指導の支援充実はありがたい。

(C委員)

(子育てについて)

・子どもの居場所がないことが課題であると思う。雨の日の遊び場がないので、県外まで足を運んだという意見も聞く。八代で体を動かして遊ぶことができる場所があるといいと思う。

(D 委員)

・現場でそれぞれが抱えている課題をもっと聞きたい。子ども・子育て会議は年2回の開催でいいのか。(状況に応じて対応を図っていただきたい。)

閉 会